

# 在宅医療 (滋賀県保健医療計画P155)

## 目指す姿

- ・県内のどこに住んでいても、本人の意思に添って、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最終段階まで安心して続けることができる
- ・本人が望む場所で、人生の最終段階におけるケア、看取りができています

## 取組の方向性

- (1) 入退院と在宅医療との切れ目のない円滑な連携の推進
- (2) 在宅療養を支援する医療資源の整備・充実とネットワーク活動の促進
- (3) 新たな在宅医療ニーズに対応できる人材の育成とスキルアップの仕組みの構築
- (4) 本人が望む場所での日常療養から人生の最終段階におけるケア、看取りが可能な体制づくり
- (5) 在宅療養を支援する多職種・多機関連携をコーディネートする拠点の充実
- (6) 本人の暮らしを中心に据えた医療福祉の推進

## 具体的な施策

- (1) 入退院と在宅医療との切れ目のない円滑な連携の推進
  - ・入退院支援ルール等医療介護連携体制構築
  - ・病院看護師研修
  - ・地域連携クリティカルパス
- (2) 在宅療養を支援する医療資源の整備・充実とネットワーク活動の促進
  - ・在宅医療を担う診療所、訪問看護ステーション、薬局等の整備
  - ・多職種連携支援、市町リーダー活動強化等ネットワーク活動の促進
- (3) 新たな在宅医療ニーズに対応できる人材の育成とスキルアップの仕組みの構築
  - ・在宅医療を担う医師、かかりつけ医、訪問看護師、診療所・施設看護師、介護職員、訪問歯科人材
- (4) 本人が望む場所での日常療養から人生の最終段階におけるケア、看取りが可能な体制づくり
  - ・二次医療圏毎の体制づくり、多職種チームアプローチ、施設看取り
- (5) 在宅療養を支援する多職種・多機関連携をコーディネートする拠点の充実
  - ・拠点整備
  - ・アドバイザー派遣
  - ・データ分析、提供
  - ・ICT活用
- (6) 本人の暮らしを中心に据えた医療福祉の推進
  - ・医療福祉関係者への研修会
  - ・多職種チームアプローチの促進
  - ・県民啓発

# 2次保健医療圏と高齢化率

6年後

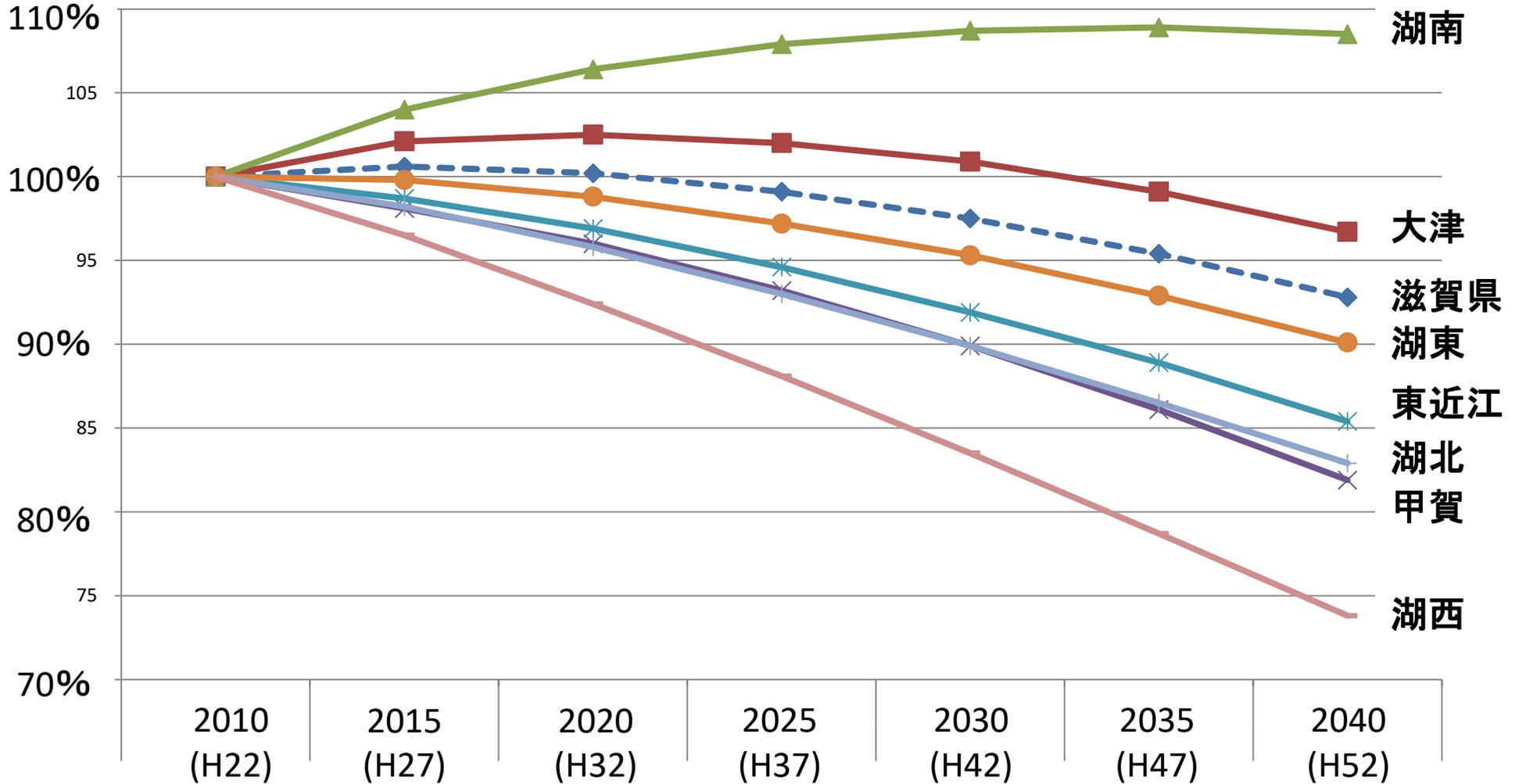


区分	構成市町数	総人口(65歳以上)	高齢化率	2025年 高齢化率 推計
大津圏域	1市	341,192人(89,455人)	26.4%	28.5%
湖南圏域	4市	342,683人(73,182人)	21.7%	22.9%
甲賀圏域	2市	143,729人(37,668人)	26.4%	28.9%
東近江圏域	2市2町	227,446人(61,734人)	27.3%	28.9%
湖東圏域	1市4町	155,967人(39,352人)	25.5%	27.5%
湖北圏域	2市	153,021人(43,367人)	28.7%	29.8%
湖西圏域	1市	47,460人(16,649人)	35.1%	36.4%
全県域	13市6町	1,411,498人(361,407人)	25.9%	27.5%
全国(概算)		12,644万人(3,558万人)	28.1%	

\* 75歳以上人口;157,093人 割合;11.2%

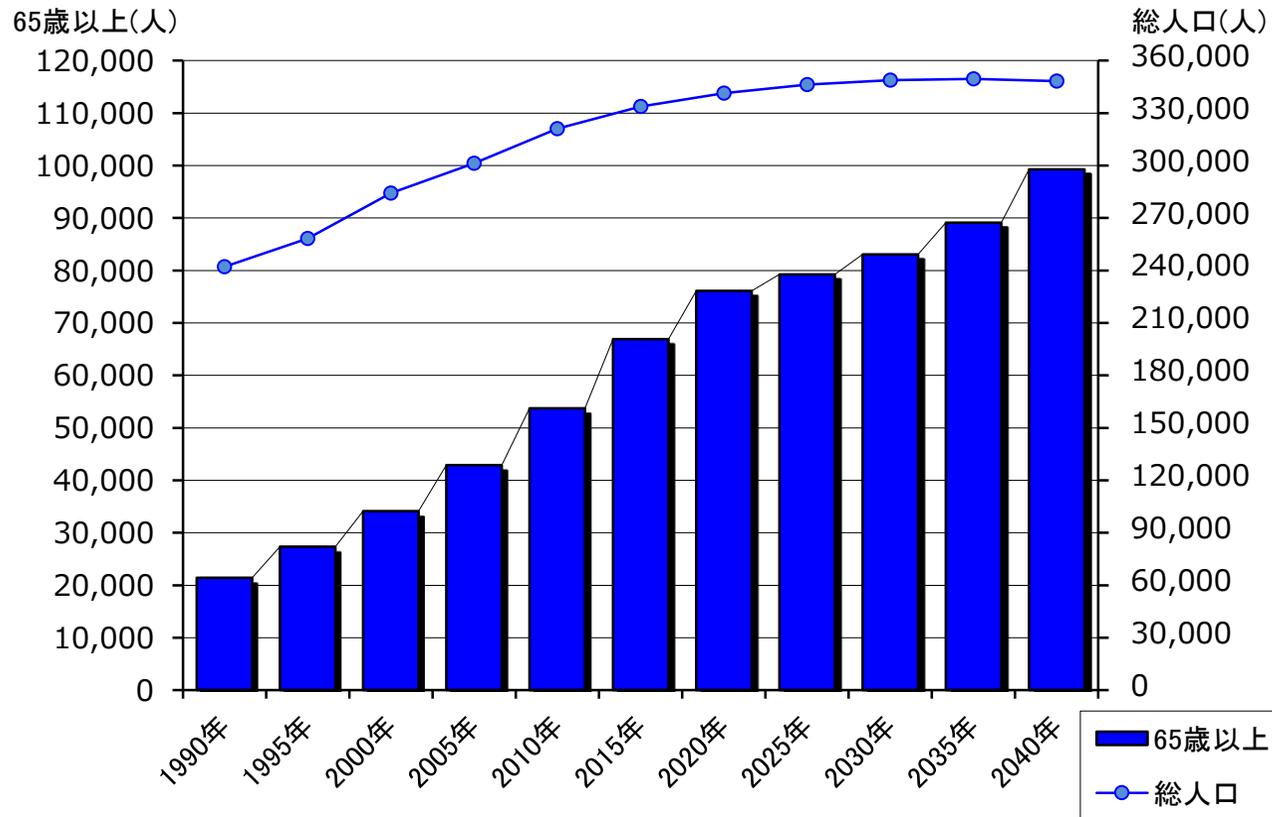
# 圏域別総人口の将来推計

\* H22(2010)を100とした時の指数



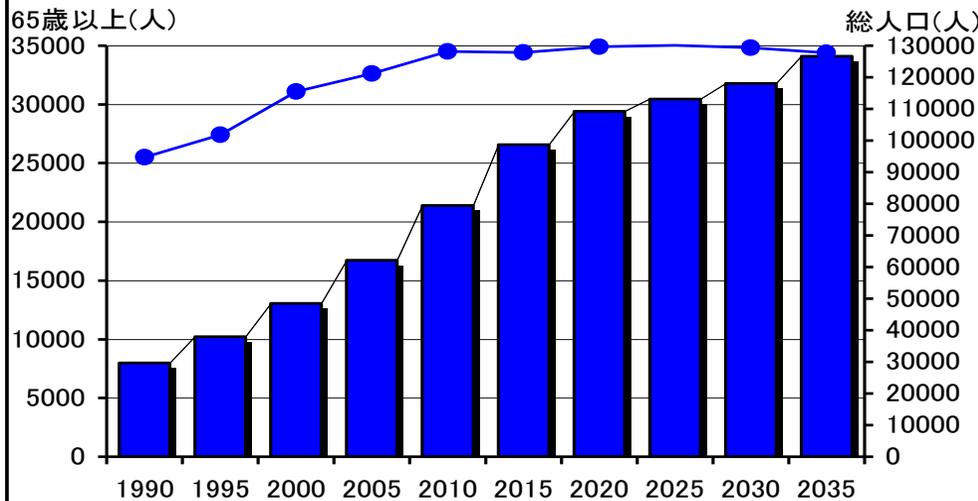
# 湖南圏域65歳以上人口の推移と推計

- ◆ 湖南圏域は今後20年間は、人口増加すると推計され、数少ない人口増加地域である
- ◆ しかし、ここ20年～30年で高齢者が増加し、特に75歳以上の高齢者は、約2倍になると推計されている

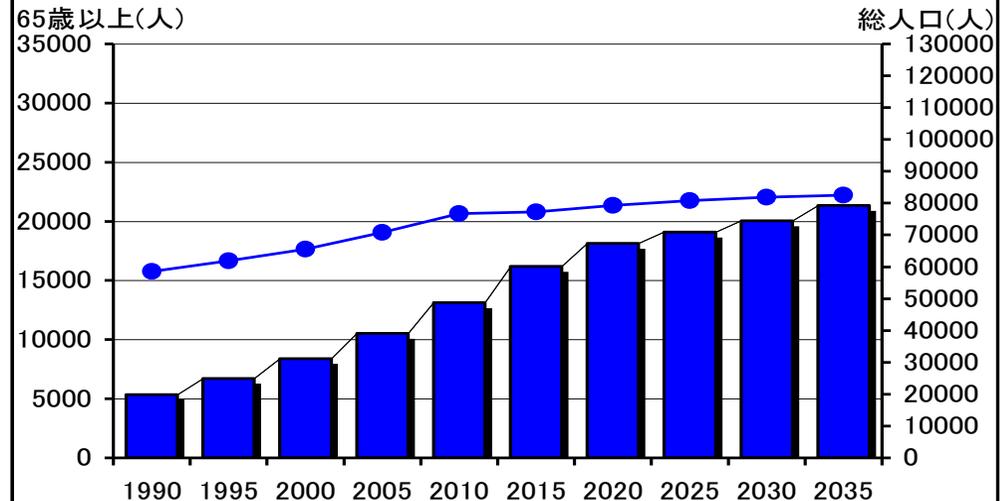


# 湖南圏域 65歳以上人口の推移と推計

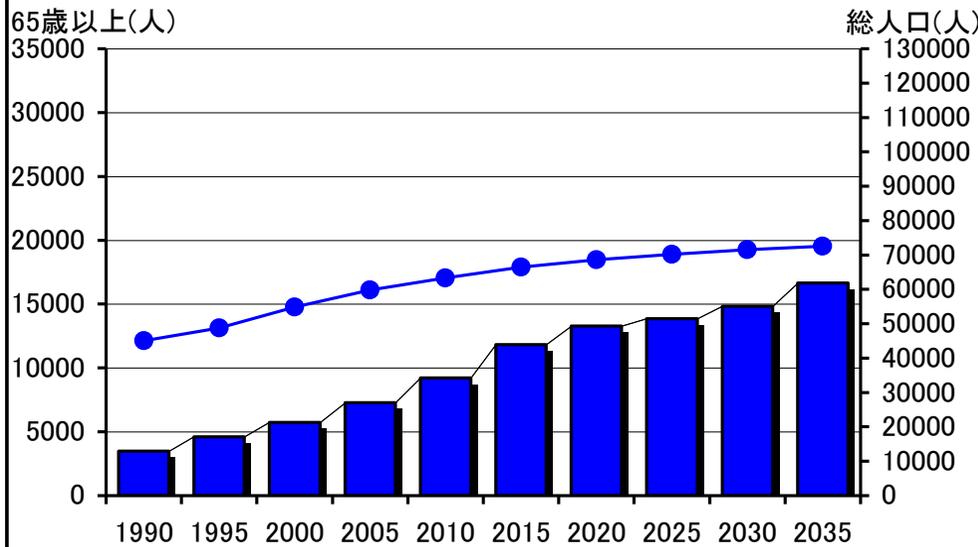
## 草津市 65歳以上人口の推移と推計



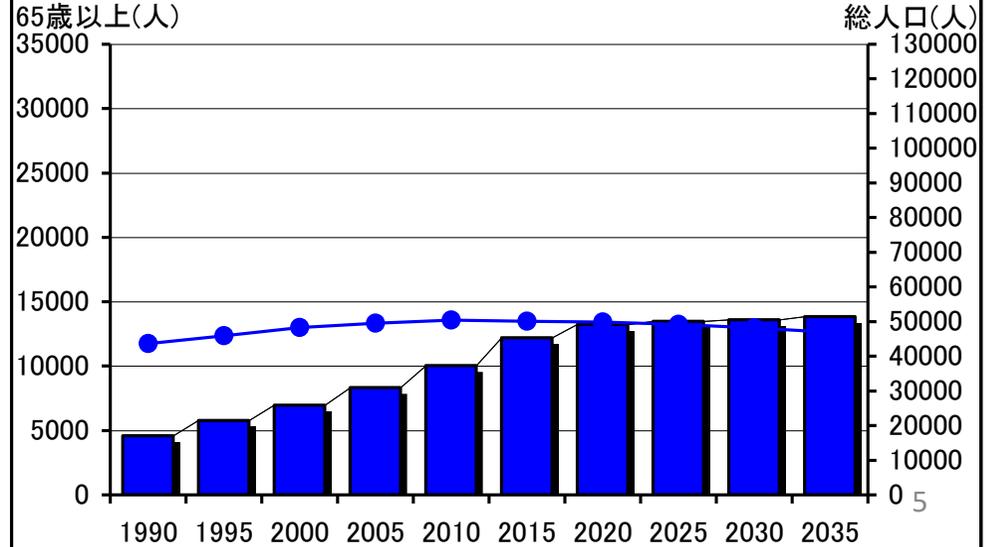
## 守山市 65歳以上人口の推移と推計



## 栗東市 65歳以上人口の推移と推計



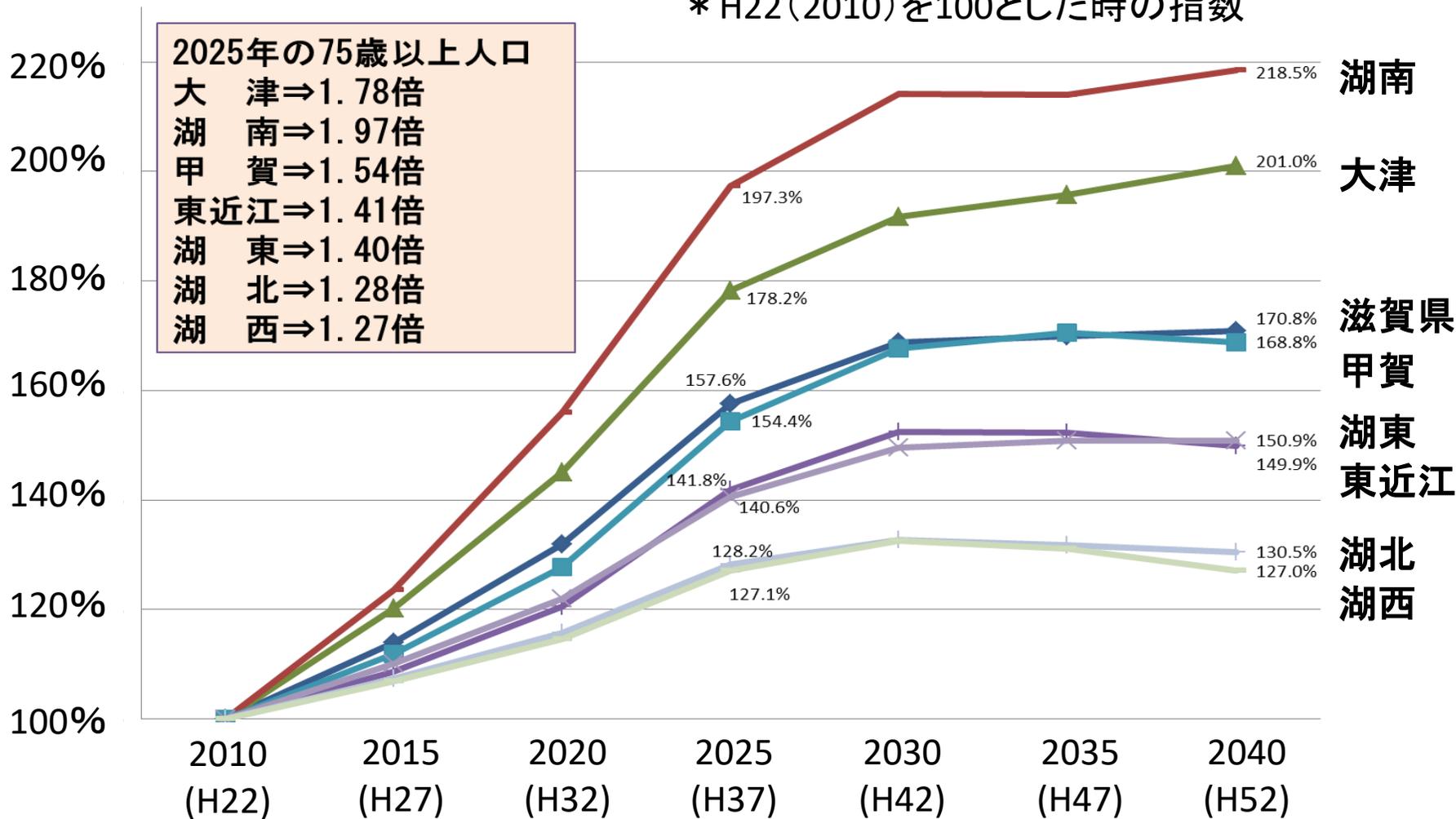
## 野洲市 65歳以上人口の推移と推計



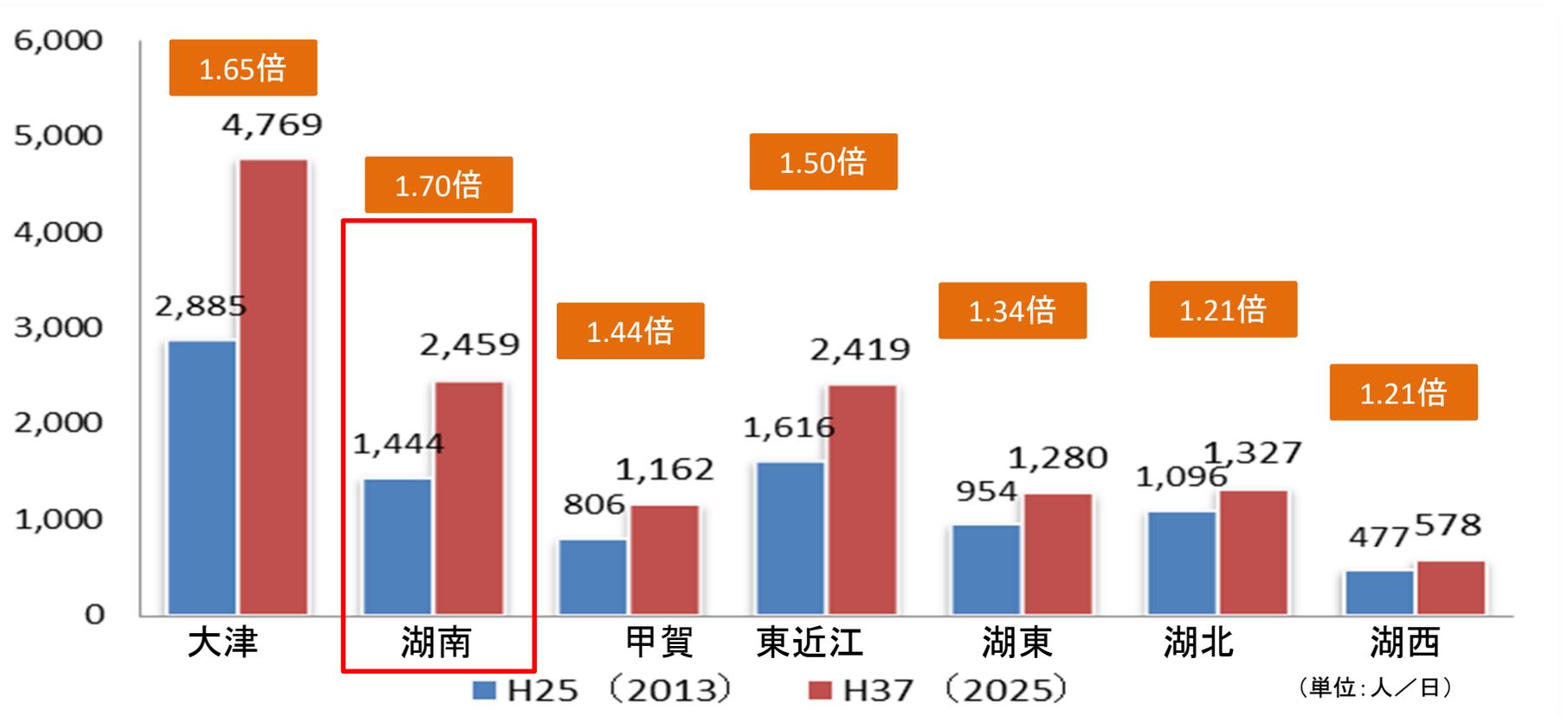
# 75歳以上人口の将来推計

75歳以上人口は増え続ける(2030年まで)

\* H22(2010)を100とした時の指数



# 在宅医療等 医療需要 「地域医療構想策定支援ツール」より



※在宅医療等の推計には以下の患者が含まれている

- 訪問診療を受けている患者
- 老健施設の入所者

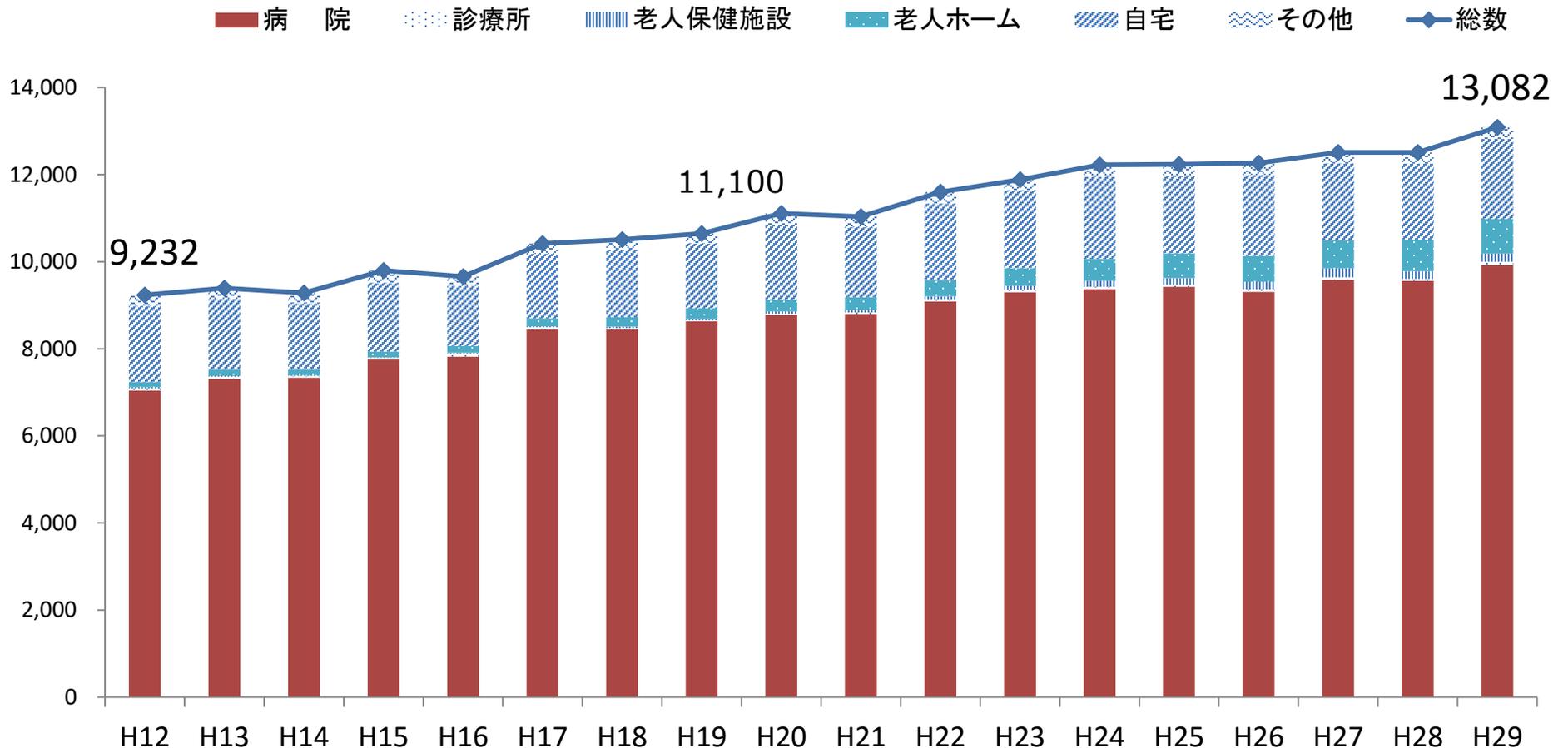
※医療機関所在地ベース・慢性期パターンBによる推計

**○ 療養病床入院患者のうち、医療区分1の70%および地域差解消分**

**○ 一般病床入院患者のうち、医療資源投入量(患者に対して行われた診療行為を診療報酬の出来高点数で換算した値)175点未満の患者**

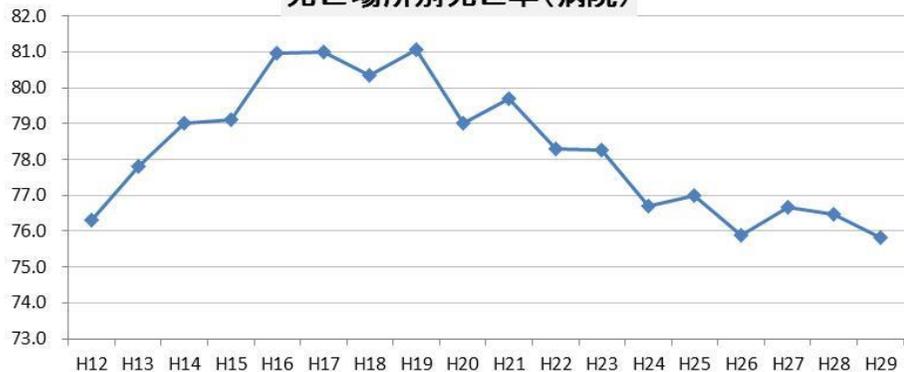
# 死亡場所別死亡者数の推移（県内）

- ◆ 県内の死亡者数は今後も増加すると推計されている
- ◆ 死亡場所は医療機関が5,000人（76.4%）と最も多く、自宅等（老人保健施設、老人ホームを含む）は、2,820人（21.6%）となっている

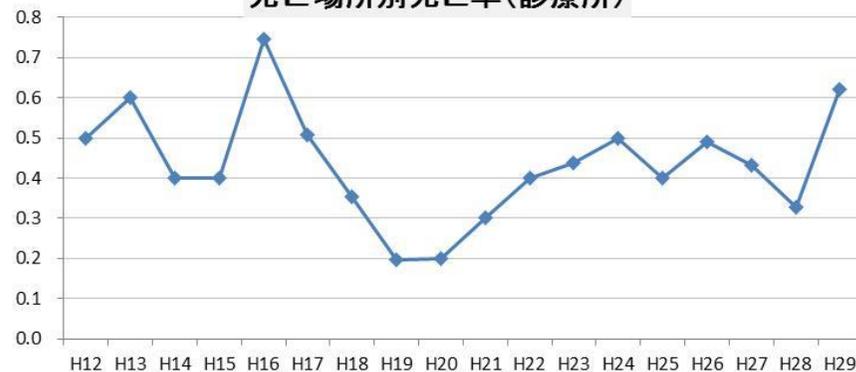


# 死亡場所別死亡者割合の推移（全県）

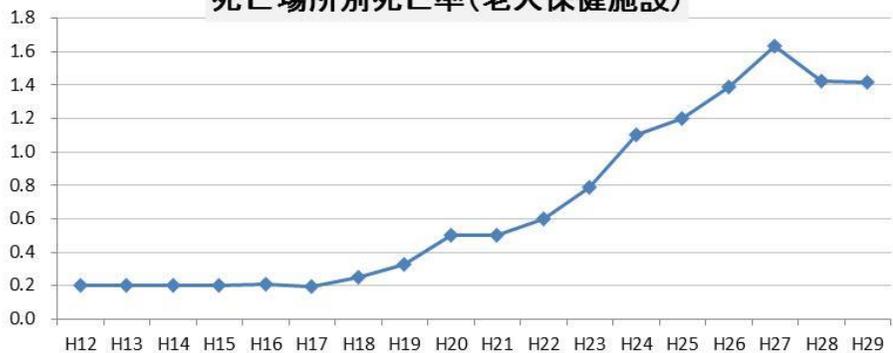
## 死亡場所別死亡率(病院)



## 死亡場所別死亡率(診療所)



## 死亡場所別死亡率(老人保健施設)



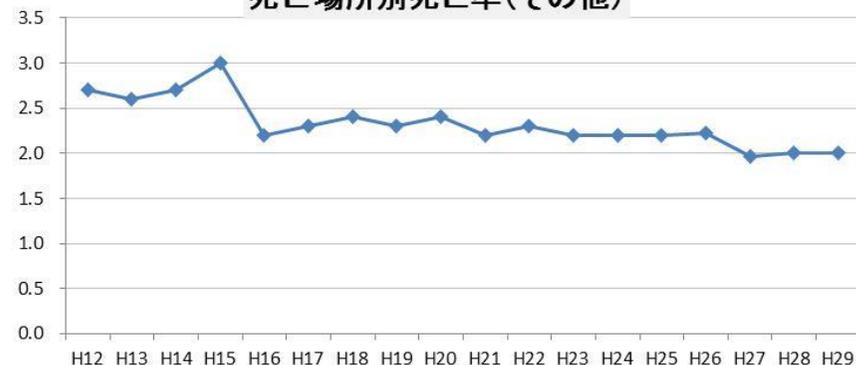
## 死亡場所別死亡率(老人ホーム)



## 死亡場所別死亡率(自宅)

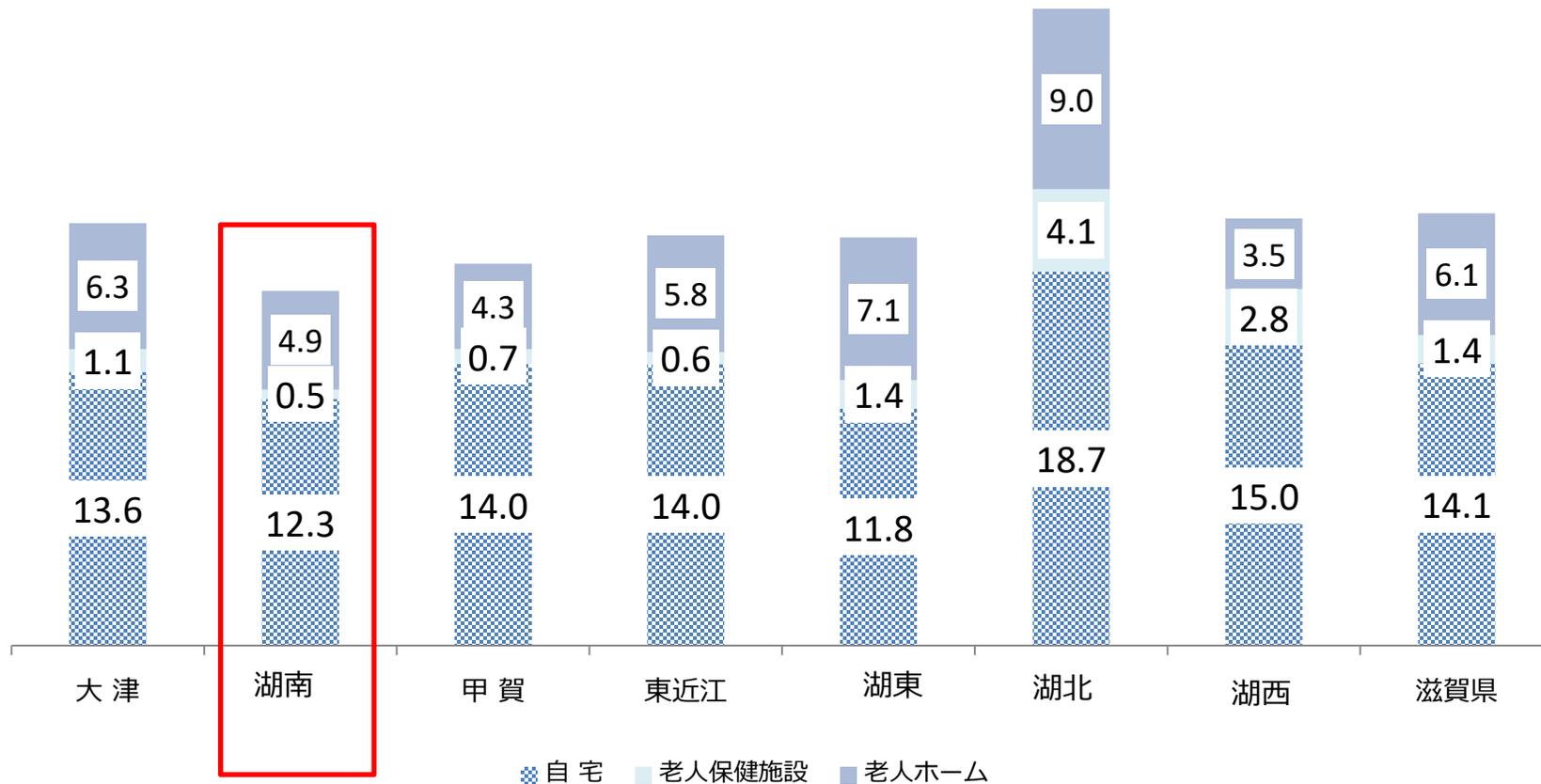


## 死亡場所別死亡率(その他)



# 自宅等死亡割合（自宅、老健施設、老人ホームH29）

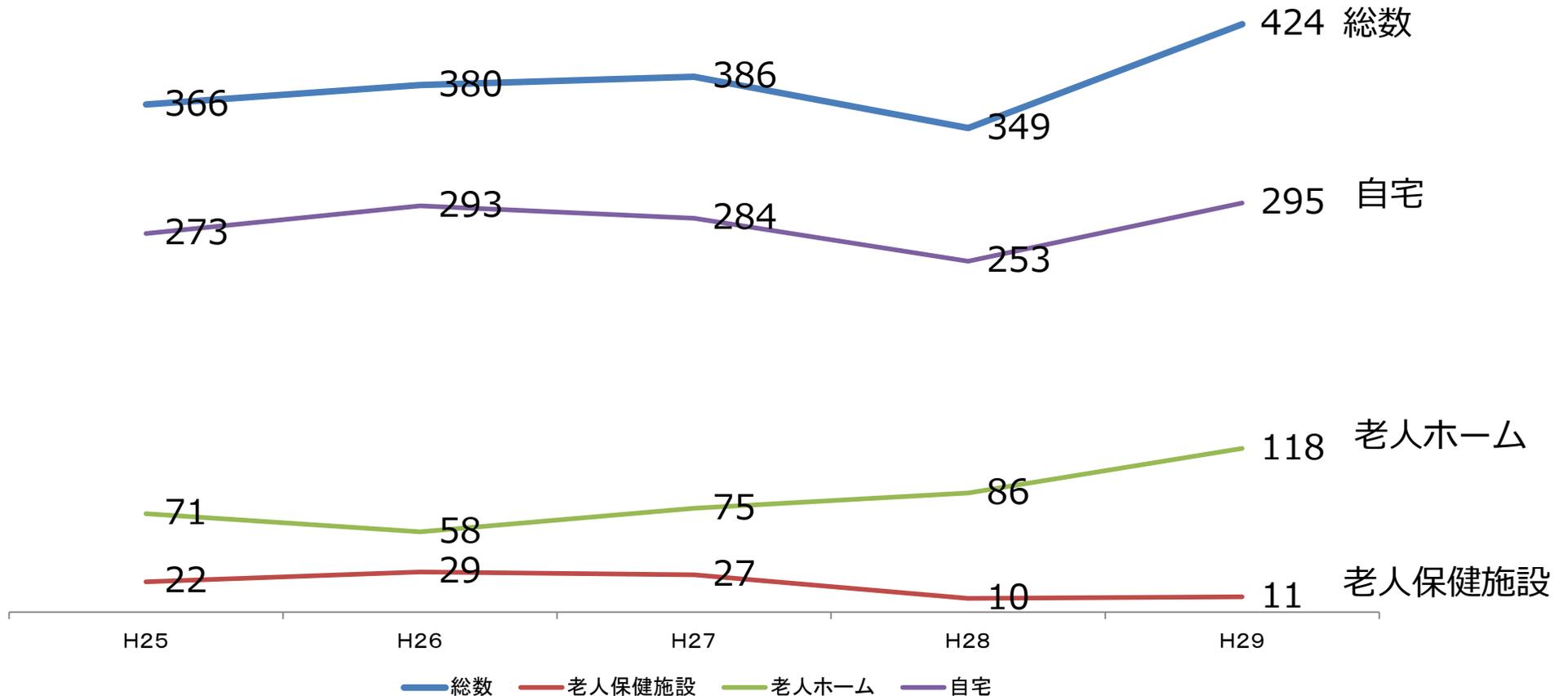
- ◆ 県内と比較すると、湖南圏域は自宅、老健施設、老人ホームを合わせた死亡割合が最も低い



# 湖南圏域の自宅等死亡者推移

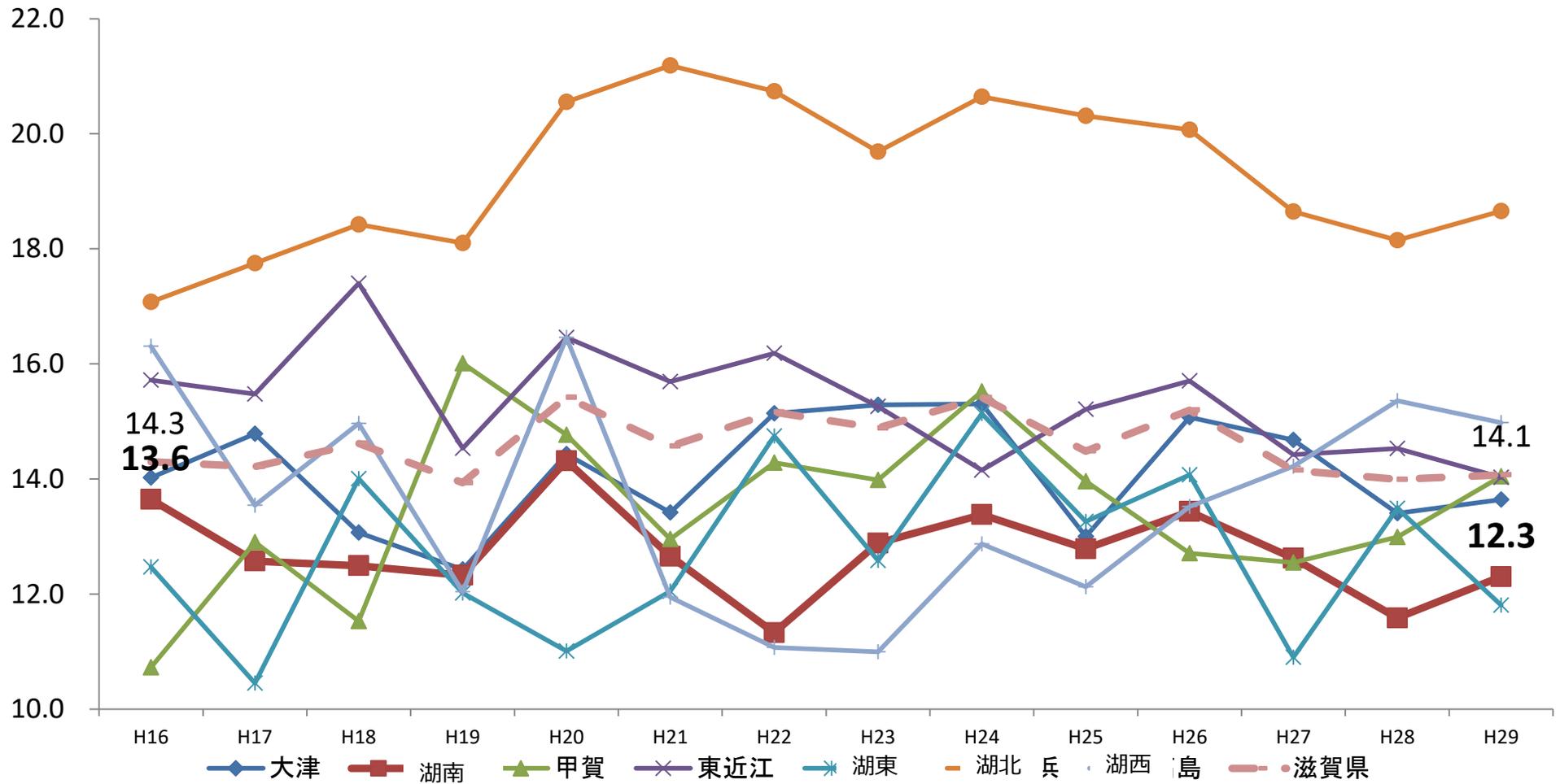
(自宅、老人ホーム、老健施設)

- ◆ 総数はH25～H28は横ばいで推移していたが、H29は微増している
- ◆ H25→H29と比較すると、自宅は273人→295人で1.08倍、老人ホームは71人→118人で、1.6倍となっている

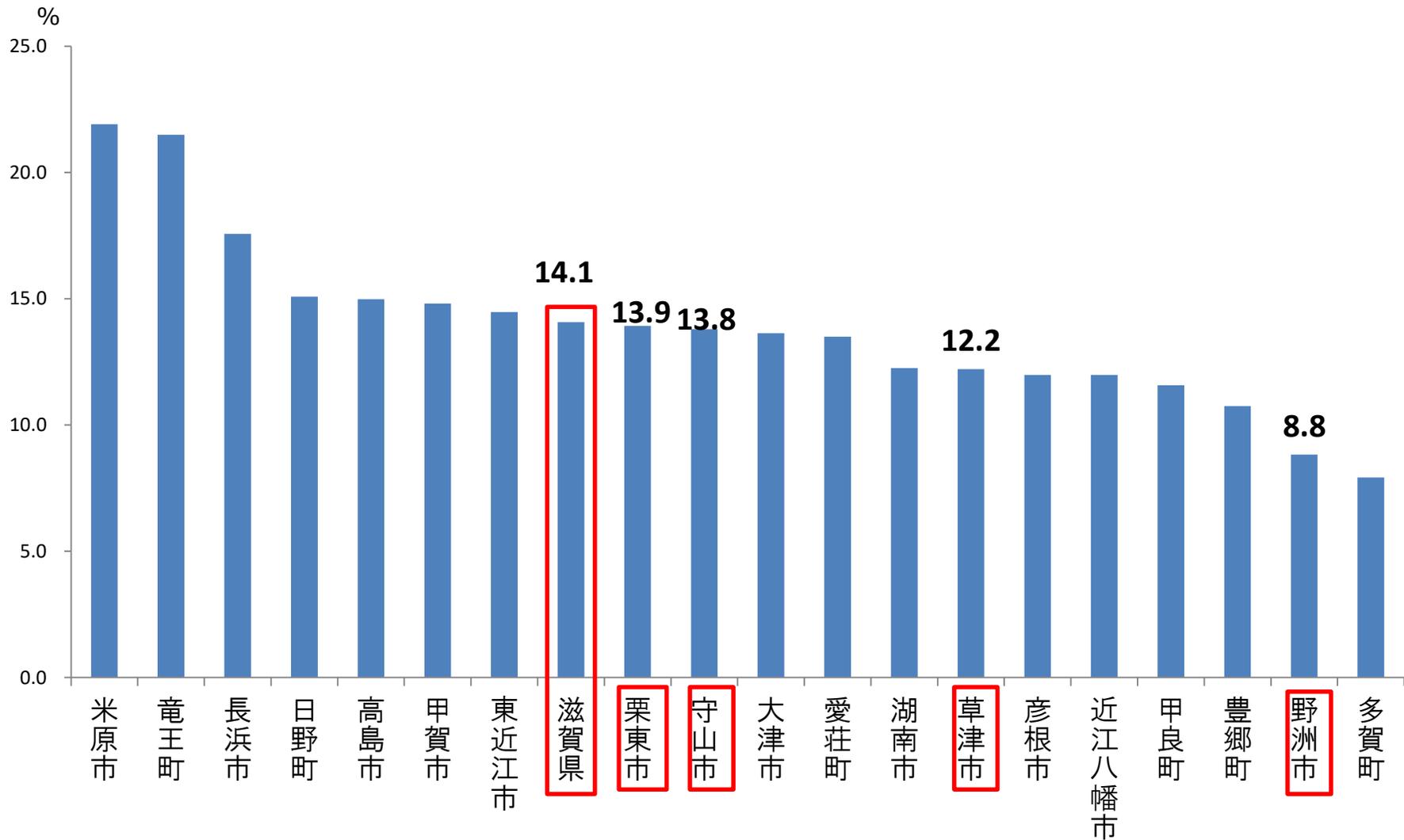


# 場所別死亡状況(%) (自宅)

◆ 自宅死亡割合は12.3%で県内で2番目に低く、経年的にみると12%~14%を推移している



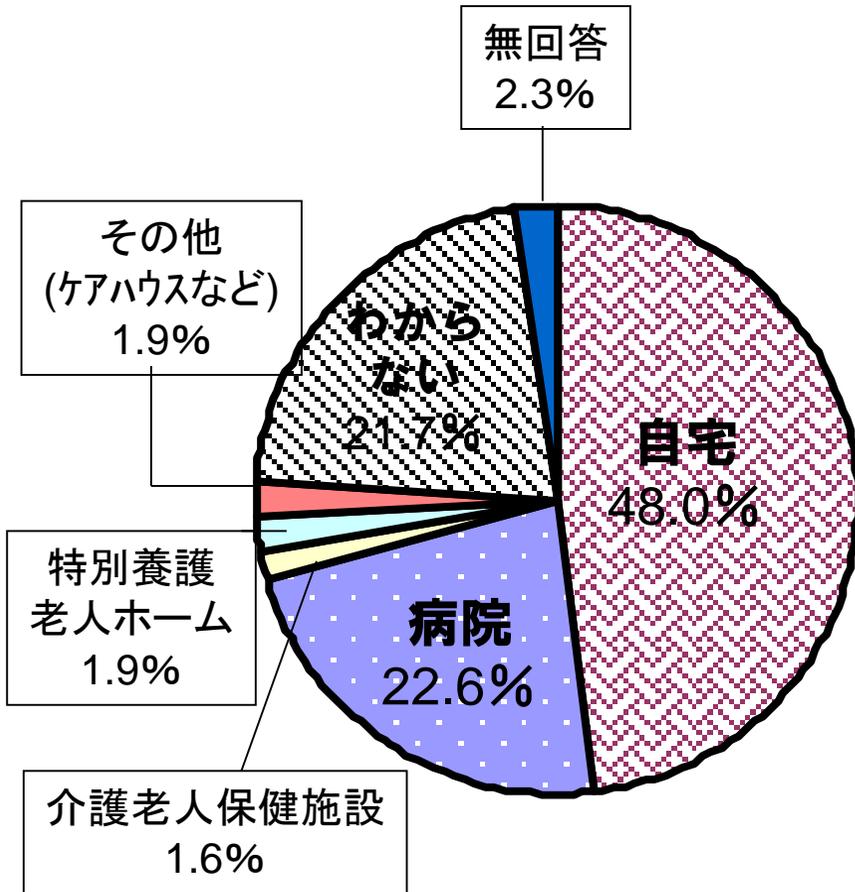
# 市町別死亡場所別死亡割合（自宅H29）



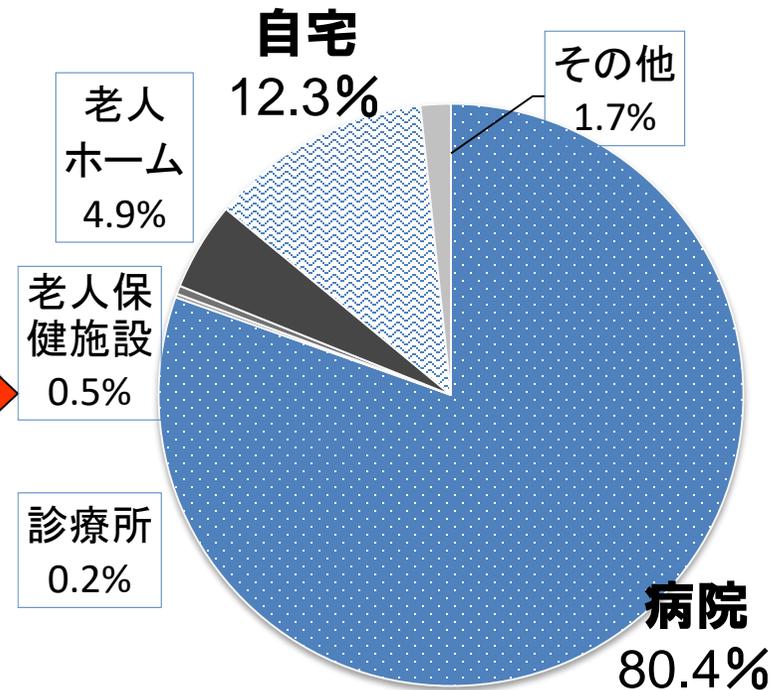
# 看取りの現状と課題

◆ 県民の半数が「自宅での看取り」を望んでいるが、約8割が「病院」で亡くなっている

## どこで最期を迎えたいか？



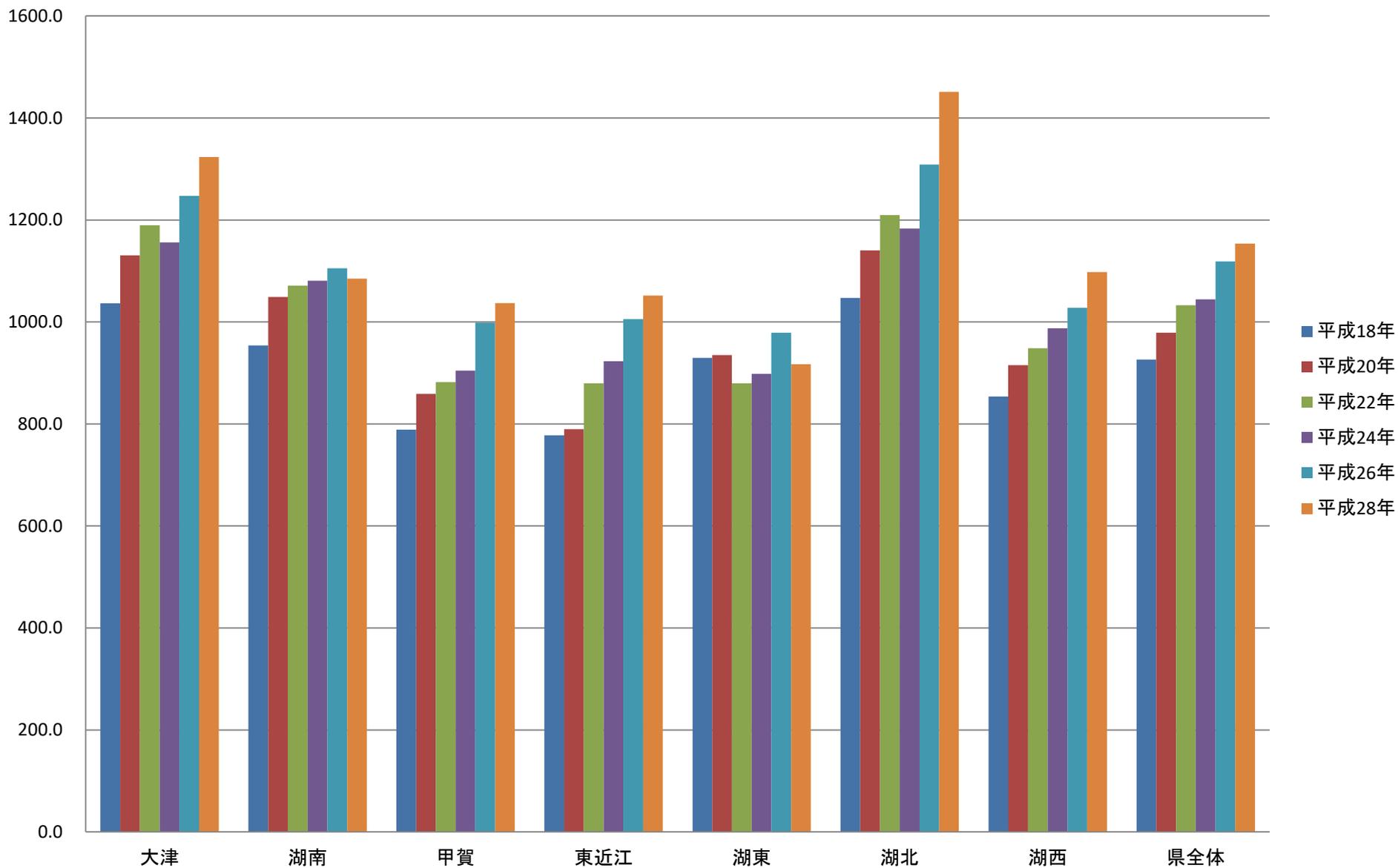
## 実際に最期を迎える場所 (湖南圏域)



(左グラフ) 滋賀の医療福祉に関する県民意識調査(平成24年度)

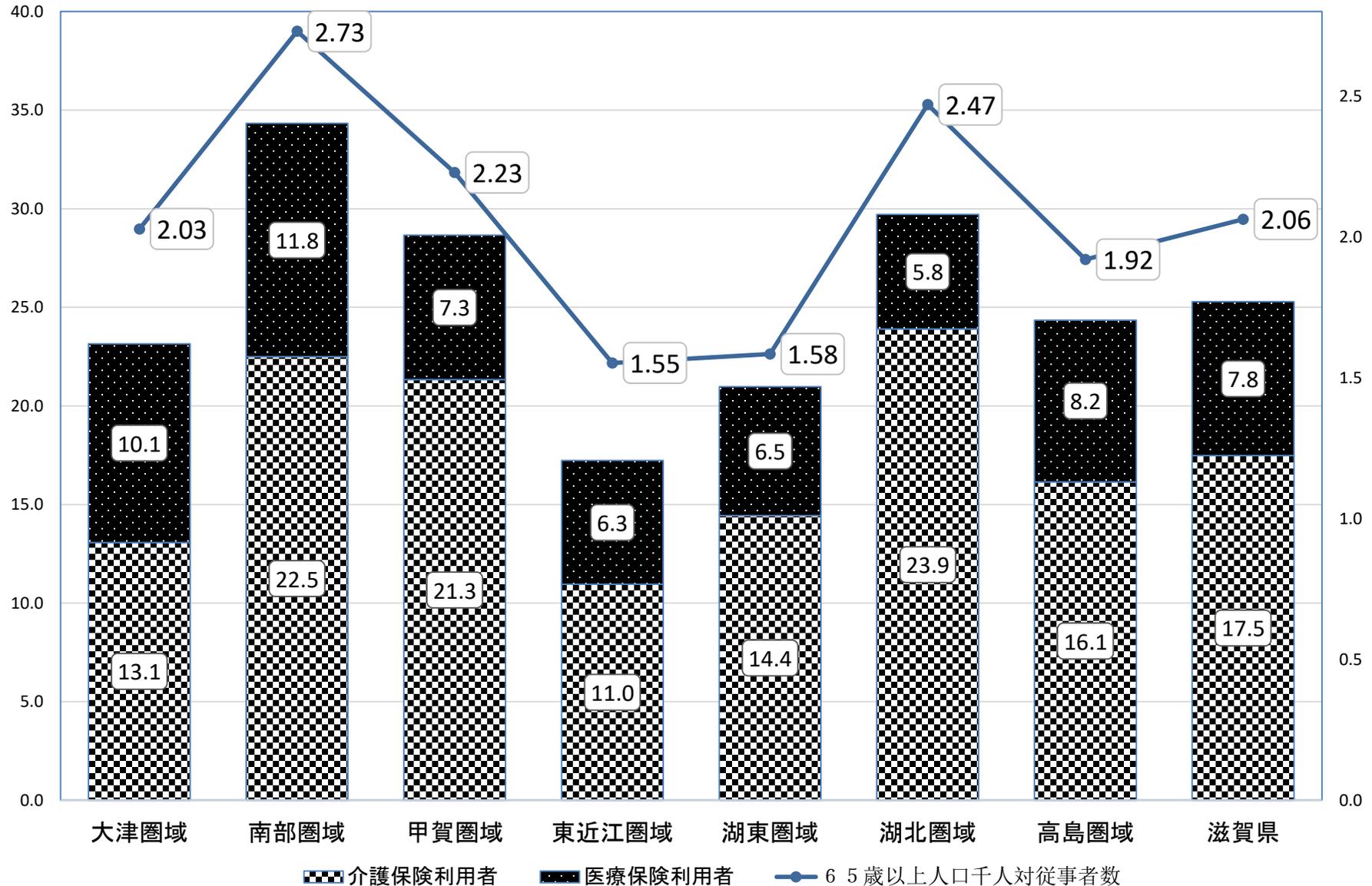
(右グラフ) 平成29年滋賀県死亡数(場所別)厚生労働省人口動態統計を元に作成

# 圏域別看護職員数(人口10万対)

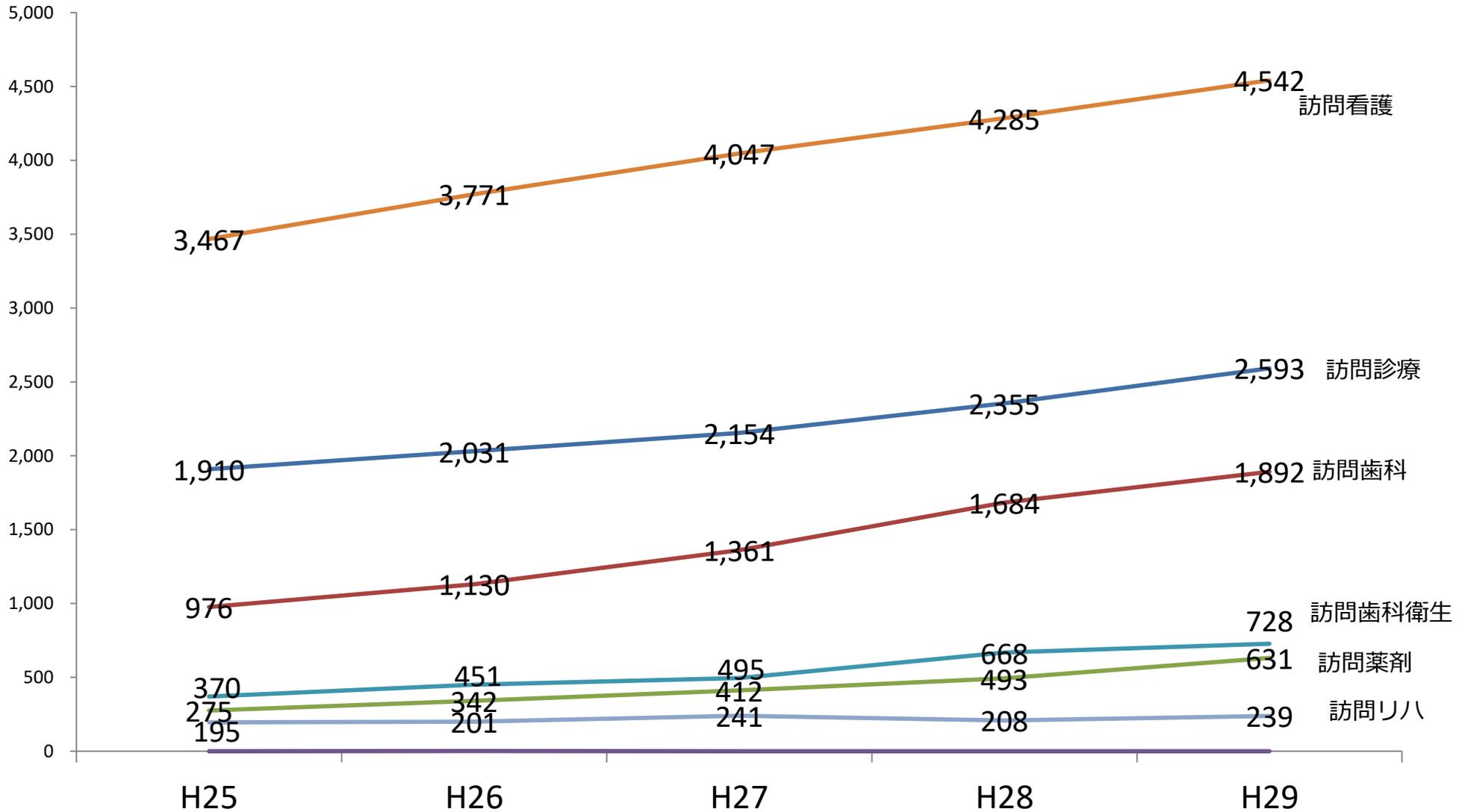


# 訪問看護ステーション 利用者および従事者の状況

(圏域別 65歳以上人口千人対利用者数と従事者数)

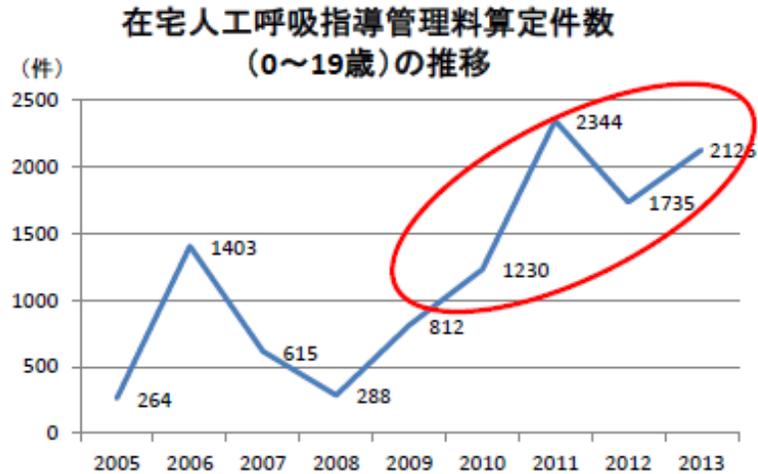
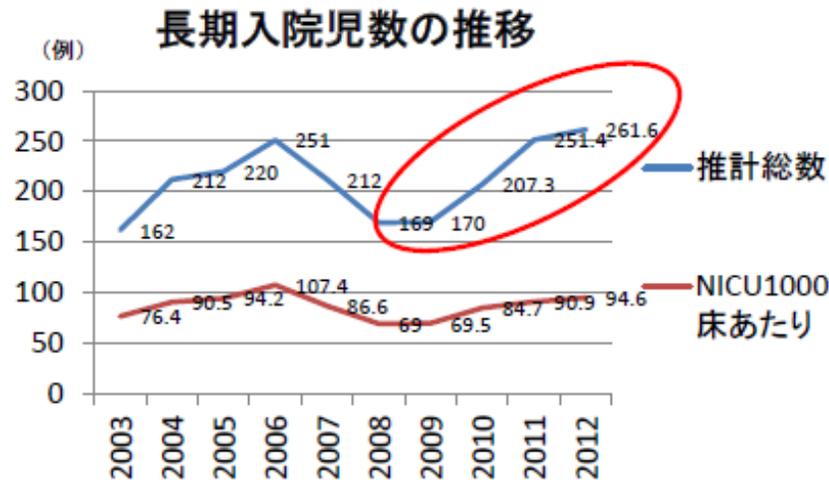


# 湖南圏域の在宅医療サービスの利用実績



# NICU長期入院児等の推移

- NICU長期入院児の年間発生数は、2010年以降再び増加傾向
- 特別支援学校等における医療的ケア児も増加傾向



平成23～25年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究事業）  
「重症の慢性疾患児の在宅での療養・療育環境の拡充に関する総合研究」（田村 正徳）

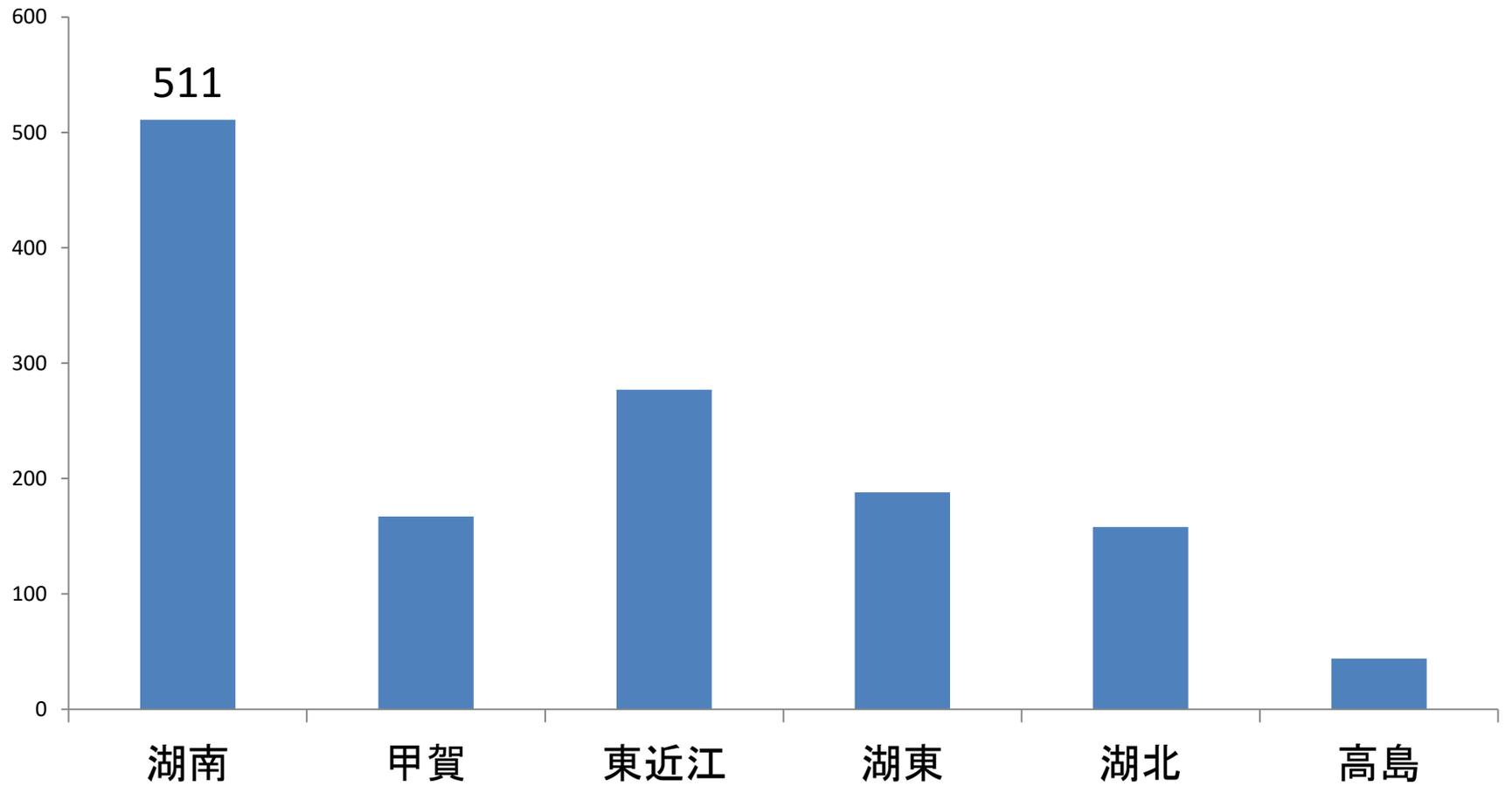
社会医療診療行為別調査

## 特別支援学校及び小中学校における医療的ケアが必要な幼児児童生徒数（小中学校は平成24年度から調査）

文部科学省「特別支援学校等の医療的ケアに関する調査結果」



# 小児慢性特定疾病受給者交付数 (H30.3)



目標項目		現状値 県全体	目標値 (H35)	湖南圏域の状況
訪問診療を実施する診療所・病院数	診療所	322(H28)	414	57(H29.10)
	病院	23(H28)	29	4(H29.10)
入院時におけると介護支援専門員との 情報連携率	入院時	83.9%(H29)	95.0%	92%(H30)
	退院時	89.7%(H29)	100%	82.1%(H30)
在宅療養支援病院数		9病院 (H29.10)	12病院	2病院(R1)
在宅療養支援診療所数		137診療所 (H29.10)	170診療所	30診療所(R1)
在宅療養支援歯科診療所数		69歯科診療所 (H29.10)	80歯科診療所	21歯科診療所 (R1)
24時間体制をとっている訪問看護ステーション数		90か所 (H29.10)	102か所	20か所 (R1)
在宅療養支援薬局数		163か所 (H29)	全薬局の50%	43(H30) 28.9%
在宅ターミナルケアを受けた患者数		694 (H28)	893	102 草24守28栗18 野32 (H29 国保)